

2024 年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：サイエンス探究アドバンスト

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在わかっている基本的な生命現象について、ミクロ（分子・細胞レベル）からマクロ（個体・生態系レベル）の知識を統合して説明できる</li> <li>・サイエンスに関する論文・記事を読み、その内容を科学的に正しく説明できる</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問や課題を解決するための論理的な道筋、実験方法を導くことができる</li> <li>・得られたデータを客観的・論理的に考察し、一連の研究をプレゼンテーションや論文でアウトプットできる</li> <li>・サイエンスに関する論文・記事や、他者の発表に対して、科学的思考に基づいて質問ができたり、疑問を持ったりすることができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな自然現象に対して「おもしろい」と感じ、自発的にさらなる情報を探索して知識を身につけることができる</li> <li>・環境問題について関心をもち、科学的思考に基づいた判断や行動ができる</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遺伝子とそのはたらきについて科学的に説明できる</li> <li>② 生物の進化とそのしくみについて科学的に説明できる</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① クラスメイトの研究内容に対し、科学的思考に基づいて質問ができる</li> <li>② 疑問や課題を解決するための論理的な道筋、実験方法を導くことができる</li> <li>③ 得られた実験結果、データを客観的に分析し、考察することができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 疑問をもったことに対して、自発的にさらなる情報を探索する</li> <li>② アドバイスを待つのではなく、自発的に考え、意見を求め、研究を進めていく</li> </ol>	

授業日	6/4(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回		
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・各自の研究テーマの実験や観察を進め、データを取っていく				
時間 授業内容	5 限・6 限	研究活動（実験、観察、サンプル採集、試薬調製、データ整理など）			
評価方法	● 実験ノートの評価の観点				
	観点	A	B	C	D
	取り組んだ実験、 思考内容、考察等 が第 3 者にも分か るように書かれて いるか（質）	極めてわかりやす かつ論理的に書 かれている	おおむねわかりや すかつ論理的に 書かれている	理解が難しい部分 がある	ほとんど内容が伝 わらない
書かれている内容 は、2 コマの時間を 基準として、十分 なボリュームか （量）	+ $\alpha$ の作業に授業 時間外にも取り組 んでいると判断で きる量である	妥当な量である	少ない	ほとんど書けてい ない	
※基本事項（日付の記載がされているか、時系列に書かれているか、ペン書きがされているか）が守られていない場合は減点					
宿題指示	今週進めた内容と次週の予定を記した実験ノートの写真を提出。				